



東京都立大学付属 中学校・高等学校

男子教育のプロフェッショナルが 6年間で夢の実現へと導く



高1希望者のニュージーランド語学研修。パディと呼ばれる現地校の生徒から生活や勉強のサポートを受けて、現地校の全授業に出席する。



中高合同で活動しているクラブも多い。勉強もクラブも思い切り打ち込める環境がある。



左上/中学のキャリア・スタディでは企業研修を実施。見て感じて学ぶ。左中/弁論大会。クラスの代表者が登壇し生徒全員が審査員となる。左下/新聞を使った授業。学びの材料はどこにでもある。

from the School

主幹教諭 久保田 隆先生

夢中になれること、自由、そして挑戦の場をたくさん与え、生きた非認知能力を育てます。



常に生徒を励まし続け大きく伸ばす6年間

難関大学を目指した教育プログラムで合格実績は年々飛躍的に上昇。今年度も過去最高の成果を上げた。思春期男子の心に寄り添う指導は保護者からの信頼もあつい。

「生徒たちの夢の実現を後押しするためのポイントが、本校には三つあります。一つ目が教員と生徒の距離が近い、『師近距離』です」と久保田先生は説明する。

勉強に「つまずき」そうな生徒を取り残さないために、「いいものは皆でシェアしよう」と、生徒からアンケートで勉強法やノートの取り方のコツを集めて良い例を紹介するなど、皆で学習する姿勢を大切にしている。

生徒への心配りはコロナ禍でも如実に表れた。休校が始まってすぐ、教材一式と課題に、教員からの励ましメッセージを添えて、宅配便で全生徒に発送。教員が作成した700本に及ぶ授業動画を配信したほか、ホームルームや個人面談もZoomで行い、自宅待機で不安な生徒を励まし続けた。思春期男子育成のプロフェッショナル集団として、常に生徒に寄り添う教員の姿勢は、学校への信頼と生徒の精神力を育んでいく。

二つ目のポイントが、非認知能力の育成だ。「勉強も部活も100…100」をキャッチフレーズに、何ごとにも全力で取り組む経験は、受験時の突破力、忍耐力、最後の追い込みの集中力につながる。非認知能

力涵養のため、コロナ禍においても人と会うことを重視。検温、教室の換気、黙食、消毒、二酸化炭素測定器の全教室設置など対策を徹底し、授業や部活はもちろん、文化祭、体育祭、修学旅行、卒業式も敢行。クラスターを発生させることなく乗り切った経験は、生徒たちに大きな自信をもたらした。

三つ目は幅広い選択肢だ。勉強、クラブ活動、学校行事、国際理解教育などあらゆる場面で複数の選択肢を与え、自分で考えて行動することを徹底している。

「文化祭や弁論大会、キャリア学習など多くの機会を通して、生き生きと頑張る先輩を間近に見るのも大きな経験です。先輩が素晴らしい結果を出す姿を見て、自分もやればできると頑張る。学校全体にいい回転が生まれています」

先生や仲間に見守られながら自分の目標やミッションを見つけ、自己決定を重ねていく。6年間で力強く成長する生徒たちは、さらなる輝かしい歴史を刻んでいくことだろう。

School Data

〒157-8560
東京都世田谷区成城1-13-1
☎03-3415-0104(代)
https://www.tcu-jsh.ed.jp/

- 創立 1951年
- 交通 ●小田急線「成城学園前」駅から徒歩約10分
- 東急田園都市線・大井町線「二子玉川」駅から徒歩約20分、「東京都立大学付属中高前」下車すぐ